

美術

美術科における指導の重点(身に付けさせたい力) ※学習指導要領に照らし合わせて	
<input type="checkbox"/> ア 知識及び技能	<input checked="" type="checkbox"/> イ 思考力、判断力、表現力等
「創造的に表す」ことについて自分の感覚を表現する力として、表現する技能の習得支援を充実させる	「豊かに発想する」ことについて、生徒にとって 新たなことを取り入れて表現する力を重点的に指導する

	生徒の学力の状況(課題)	授業における具体的な手だて	手だての実施時期	成果検証(2月)
第1学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>タブレット端末での配色の工夫について、使用方法の習熟度の差と配色の工夫の理解の違いが不明瞭である。<input type="checkbox"/>ア</li> <li>アイデアについて「正解」を探すことから自分の感性を生かした表現まで理解が幅広い。<input type="checkbox"/>イ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>配色方法についてあらかじめアプリ上の特徴を説明して、生徒が配色をつつがなく使用できる環境を整える。<input type="checkbox"/>ア</li> <li>アイデアを決定した理由を振り返り記述を書くことで自分の表現への気づきを促す。<input type="checkbox"/>イ</li> </ul>	2 学期	
第2学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>今まで描いたことのある表現に頼って、新しい表現に挑戦しない場合がある。<input type="checkbox"/>ア</li> <li>アイデアを考えるために新しい情報や周囲からの意見を受け入れる度合いに違いがある。<input type="checkbox"/>イ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>アイデアを考える前にレポートで新しい情報をまとめるなど、利用できる情報を充実させる。<input type="checkbox"/>ア</li> <li>情報の組み合わせ方について先事例を調べたり、アイデアを見せ合ったりする。<input type="checkbox"/>イ</li> </ul>	2 学期	
第3学年	<ul style="list-style-type: none"> <li>自画像や抽象彫刻など自分の感情を表現することに対する理解に差がある。<input type="checkbox"/>ア</li> <li>自分の表現にある「自分にとって好ましいと思う感覚」への気づきに定着の差がある。<input type="checkbox"/>イ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>題材に対する自分なりの目的について十分に時間をかけて考える。<input type="checkbox"/>ア</li> <li>作品鑑賞や作品アイデアを考える際の振り返り記述に対してフィードバックを示す。<input type="checkbox"/>イ</li> </ul>	2 学期	

■「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に向けた一人一台端末等 ICT の効果的な活用について	■学習の見通しをもたせることや学習を振り返ることの工夫等、「学びに向かう力」の育成に向けた取組について
<p>1 年 生徒の振り返り記録を生徒自身が確認しやすいようにロイロノートで下書きしてから Google クラスルームで提出する方法にする。【重点:個別】</p> <p>2 年 2 学期まちづくりの題材ではまちづくりについて生成 AI を用いて相談しながらアイデアを考えられるようにする。【重点:個別】</p> <p>3 年 生徒のロイロノートの提出物に対して電子黒板を利用して教師のフィードバックを個人名等に配慮しながら学級全体に分かるように提示する【重点:個別・協働】</p>	<p>学習の見通しをもたせるための工夫として授業全体の計画をプリントにまとめて提示している。また学習を振り返る機会を設けて、自分の表現する過程を順序立てることで再現力を培っている。</p>